

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)

2010年12月度理事会 議事録

■開催日時 2010年12月14日(火)14:00~18:20

■開催場所 HFW事務所

■役員総数 10名(理事8名、監事2名)

■出席者数 9名

齊藤恵一郎理事長、犬島由香里理事、関口和孝理事、原田麻里子理事、渡瀬のり子理事、米山敏裕理事、渡邊清孝理事兼事務局長、上島鋭一監事、矢崎芽生監事

■書面表決者 1名

星野直副理事長

■オブザーバー参加

白木隆司 YEH JAPAN 代表

■議事

1. 開会(司会:渡邊事務局長)

2. 出欠確認(上記の出欠状況が報告された)

3. 議事録署名人の選出

齊藤理事長の任命で、関口理事、渡邊事務局長が選出された。

4. 理事長挨拶

5. 議事

【報告事項】

◎①財務

渡邊事務局長より資料①の報告がされた。12月に184万円の資金ショートが発生することから、正副理事長の判断によって必要な対策を取ることが可決された。加えて、2000万円分相当の事業の先送りに
関し、2011年度にどの程度実施可能か、その計画を次回理事会で提示することが可決された。

◎②会員現状・ひとつぶ募金

渡邊事務局長より資料②の報告がされた。

◎③支部及び準支部、YEH各国・国内の活動

バングラデシュ担当職員の西岡より資料③-1、ウガンダ担当職員の吉田より資料③-2、ベナン・ブルキナファソ担当職員の土橋より資料③-3,4、国内事業担当職員の儘田より資料③-5、YEH事務局の白木氏より資料③-6の報告がされた。

◎④書損じハガキ回収キャンペーン進捗状況

関口理事より資料④の報告がされた。齊藤理事長より、今後のキャンペーンについて、考えられるリスクを想定し対応することの必要性や、3月に実施予定の感謝の集いの場において、生協をどうフォーカスしていくのかを考慮する必要性が述べられた。加えて、上島監事より、キャンペーン収入の予測ミスは許されず、かつ収入予測に基づく厳格な事業予算を組むべきとの指導がなされた。

【審議事項】

◎⑤ナショナルレベルプラン案(中長期計画)

渡邊事務局長より資料⑤の議案が出された。米山理事、上島監事より、計画の項目だけでは具体的な事業の達成状況が把握しづらい点や、年度毎の指標がないと年度毎に評価がしづらい点の意見が挙げられた。結果、中長期計画案の中に、1)2005~2010年の中期計画の評価結果、並びに開発事業のマスター プランとの比較状況、2)具体的な事業の達成状況の可視化、3)中長期計画の年度ごとの指標を盛り込

むよう指示がなされ、次回理事会で修正版を審議することが可決された。

◎)6)内部留保確保体制と基金の妥当性

渡邊事務局長より資料⑥の議案が出された。審議の結果、年間予算の3割を上限に、6年で6000万円(年度末繰越金)の内部留保を設けること、基金についてはその内部留保が確保でき次第、検討することが可決された。

◎)7)感謝の集い

犬嶋理事より資料⑦の議案が出された。会場については、YEHが全国から参加する時期であり、YEHが参加しやすいオリンピックセンターにすることが可決された。参加費については、関口理事より、会費・寄付を会合の飲食費に充て、参加費を無料にすることに異論が出された。協議の結果、参加費についてはYEHはワンコイン(500円)程度、大人は会場費以外の飲食代(3000円)程度をカバーできる金額に設定する、及びメンバーとしての参加意識や連帯感を感じるような記念品を設けることが可決された。

審議時間の都合により、別途、理事メーリングリストで、1)参加費、2)企画のコンセプトの修正(「感謝」→「祝賀」)、3)企画進行内容(YEHを含めた)を協議することが可決された。

◎)8)その他

A:職員の勤務時間について

関口理事より、職員の超過勤務の是正について、担当理事が担当職員に勤務状況を把握するなどの実態調査を行い、理事会としてまずは情報共有することの必要性が述べられた。渡瀬理事より、職員の業務の効率化を図るため、企業向けの能率向上に関する外部研修受講の提案や、原田理事より、JICAの労務管理研修受講の提案がなされた。

結果、理事会として、2011年度早期にこの問題に対処できるよう、労務環境の現状と具体的な対応策を事務局から理事メーリングリストに流すよう指示がなされた。

B:広報戦略について

原田理事より、別紙「広報戦略の作成方針・進捗状況について」の通り、広報戦略策定の進捗状況が報告された。

以上、この議事録が正確であることを証するため議事録署名人が下記に署名する。

【次回理事会】

2011年3月24日(火)14:00~18:00 オリンピックセンター

2011年2月12日

議長

渡瀬 忠一郎



議事録署名人

関口 和孝



同 渡邊 淳子

